

トモネット英語塾 週刊英語レポート講座



The successful man will profit from his mistakes and try again in different way.

(海まで一本道。石垣島にて。)

著作権について

『トモネット英語塾、週刊英語レポート講座』（以下、本書と表記）は著作権法で保護されている著作物です。本書の使用に際しましては、以下の点にご注意ください。

1. 本書の著作権は、トモネット英語塾にあります。
2. トモネット英語塾の書面による事前許可なく、本書の一部または全部をあらゆるデータ累積手段（印刷物、電子ファイル、ビデオ、テープレコーダー等）により複製、流用および転載、転売することを禁じます。

使用者許諾誓約書

本契約は、本書を購入した個人・法人（以下、甲と称す）と、トモネット英語塾（以下、乙と称す）との間で合意した契約です。本書を甲が受け取り、パッケージを開封することにより甲はこの契約に同意したことになります。

第1条 本契約の目的

乙が著作権を有する本書に含まれる情報（ノウハウ等）を 本契約に基づき甲が独占的に使用する権利を有するものです。

第2条 禁止事項

本書に含まれる情報は、著作権によって保護されています。甲は本書から得た情報を、乙の書面による事前許可を得ずして出版・公演活動および電子メディアによる配信により一般公開することを禁じます。特に第三者に渡すことを厳しく禁じます。甲は、自らの事業、所属する会社および関連組織（販売店・代理店等）においてのみ本書に含まれる情報を使用できるものとします。

第3条 契約の解除

甲が本契約に違反したと乙が判断した場合は、乙は使用許諾契約書を解除できるものとします。

第4条 損害賠償

甲が本契約の第2条に違反した場合、本契約の解除に関わらず、甲は乙に対し、その違約金として、違反件数と販売価格を乗じたものの15倍の金額を支払うものとします。

第5条 責任の範囲

本書の情報の使用責任は甲にあり、この情報を使って損害が生じたとしても、乙は一切の責任を負いません。

「トモネット英語塾、週刊英語レポート」

著者(著作権者): 中西 智裕

■ はじめに

こんにちは、中西です。

秋の連休、シルバーウィーク真っ只中ですね。

いつの間にか秋の連休がシルバーウィークになり(今年だけ?)、
鳩山さんが首相になり、イチローがメジャー史上初の快挙を成し遂げたりと、

世の中のスピードに圧倒される今日この頃です。

話は変わりますが、先週、海外のニュースを見ていたら(と言っても、2 日に一回、10 分~20 分程度)面白いニュースを発見したので、シェアしようと思います。

そんなに長い英文ではないので、解説をする前にまずは試しに読んで見て下さい。以下全文を載せておきます。

Boy's abduction just a false alarm

Tuesday, September 15, 2009

By Steve Campbell

Times Staff Writer steve.campbell@htimes.com

11-year-old with bad report card fakes kidnapping

An 11-year-old boy faked his kidnapping Friday to avoid bringing home his bad report card, Huntsville police said.

The Ed White Middle School student claimed that a man in a red, beat-up car grabbed him after school at the intersection of Trail Ridge and Grizzard roads and forced him into the vehicle.

次項へ続きます。

"I'm going to take you somewhere and kill you," the boy claimed the man said. The boy also said the man had a pistol.

The boy then claimed to have jumped from the vehicle - without his bookbag, which contained the report card - and run to his grandparents' house.

That's where the boy eventually confessed to making up the whole thing to cover for his bad grades. His grandfather called police to apologize and report the boy's story.

Police were first notified of a possible abduction involving the boy at about 4:20 p.m. - before he confessed.

But it's unclear who reported the kidnapping.

Sgt. Mark Roberts said police were suspicious of the boy's story when he was able to "escape" with his band instrument, but not his bookbag.

Roberts said the boy faces no charges at this time.

The whereabouts of the bookbag and report card are unknown.

参照URL

<http://www.al.com/news/huntsvilletimes/local.ssf?/base/news/125300614585780.xml&coll=1>

簡単に説明すると、

悪い成績表を親に見せたくないばかりに、11 歳の子供がしでかした誘拐劇です。

少年の話によれば、赤い車に無理矢理乗せられ、どこかに連れて行って殺すと脅されたと伝えたようです。

その後車の中から成績表の入った学校カバンを持たずに自力で飛び降りて、祖父母の家へ走って行ったと話しました。

(警察への通報は PM4 時 20 分ごろにあり、この通報を誰がしたのかは、今のところわかっていません。)

誘拐が少年による嘘だと分ったのは、彼が学校のかばんを持たずに逃げたわりには、ちゃっかりバンドの楽器は持っていたことから怪しいと思われたようです。

結局彼は祖父に告白し、警察に謝罪の電話を入れたそう。

悪い成績を持ち帰られずに追いつめられてしまった彼の気持ちを分かってしまうのは自分に複雑な気持ちになりました・・・(苦笑)。

それからもう1つ。

ボクもつい最近、知ったのですが(奥さんから教えてもらいました。)、2011 年から小学校5, 6年で英語の授業が必修となるということで、全国の小学校ではAET(Assistant English Teacher の略。今は ALT Assistant Language Teacher とも言われる。)

を招いて英語を教えているというのは、以前にもここで話した通りですが、

ALTに加えて、JET(Japanese Teacher of English)と呼ばれる人たちがいるんですね。

簡単に言えば教育免許がなくても、子供に小学校で英語を教えることができる人たちのことです。

ボクもまだ詳しい情報は分らないのですが、年に8回のTOEIC、年に3回の英検で英語力を試すのも良いし、こういったキャリアアップのために、英語を磨いてみる、モチベーションを維持させるのもいいかもしれないですね。

興味があれば、参考にして見て下さい。(次項参照)

<http://www.alc.co.jp/kid/tch/naru/primary.html>

小学校で教える

私立小学校

私立小学校の数は、日本の小学校全体のおよそ1パーセントにしか過ぎませんが、その9割近くの小学校で英語教育が実施されています。英語を教える教師の場合、多くは専科教員として非常勤講師の立場です。英語のレベルや教育方針をはじめ、求められる資質や採用条件なども学校によって大きく異なりますので、直接確認することが必要です。

公立小学校

今、児童英語教師の職場として最も注目を集めているのが、公立小学校です。

近年、教育特区を中心に英語活動を取り入れる小学校が増え、民間の児童英語教師が「英語に堪能な地域人材」として英語活動にかかわるケースが増加しています。民間で活躍するすぐれた児童英語教師を現場に送り出すために、2003年には「[小学校英語活動指導者資格](#)」を認定する「NPO小学校英語指導者認定協議会(J-SHINE)」も設立されました。

そして、2008年3月に公示された「小学校学習指導要領」では、2011年度から小学校の高学年において、外国語活動(英語活動)が必修となることが明示されました。国語や算数のように「教科」として教え、成績をつけるのではなく、「聞く」「話す」といった音声を中心に英語や英語の文化に親しませることが目的とされており、児童英語の教授法や指導法を身につけた指導者の活躍の場が広がっています。

日本人英語指導者のかかわり方は地域や学校によって大きく異なり、カリキュラムや指導案作成まで任される場合もあれば、教育委員会や学校の指導計画に沿ってカリキュラムやレッスンプラン、使用教材などがすべて決められていることもあり、さまざまです。ただし、授業のスタイルは学級担任が進行役となり、そこにALT(外国人指導助手)が加わったり、JTE(日本人英語指導者)が加わったり、といったチーム・ティーチングを実施、または目指している小学校が多く、文部科学省もその教育体制を推奨しています。

募集は、教育委員会のウェブサイトや、区報、市報などに情報が掲載されたり、学校が保護者から協力者を募ったりすることが多いのですが、みずから教育委員会や小学校に働きかけて採用が決まるケースもあります。指導実績や流ちょうな英語力、熱意などに加え、「小学校英語活動指導者」の資格を取得していたり、専門学校や民間団体の児童英語教師養成講座などを修了していたりしていると、よいアピール材料になるでしょう。

■ お肉に学ぶ教訓。

「最近、お腹の周りに肉が付いてきたんだよ。メタボかな……。」

先日、友人からのこんな一言をボソツと言われた。

彼は小食でありあまり食べない方らしく、奥さんに

「食べないことにはせっかくトレーニングしても筋肉なんてつかないでしょ。」

と言われたので、たくさん食べることにしたのだ。

彼は筋トレ重視で、ずっと続けていたジョギングもサボリ気味。

(ちなみに激しい筋トレをした後は、48時間〜72時間筋肉を休めないと、筋肉は太くはならず、縮む。)

その上、調子に乗ってガンガン食べていたので、
一ヶ月で4キロも体重が増えてしまったとのこと。

どれどれと、お腹を見ると明らかに以前よりも膨らんでいて、
ベルトの上にしっかりと肉が乗っている。

昔は六つに割れていた腹筋が今や分厚い肉壁と化していた。

(一緒にサッカー選手として戦っていたあの頃の面影はもうない 苦笑。)

一ヶ月で4キロ。

肉屋さんで4キロの肉を見るとこれはさすがに冷や汗もの。

こうやって衝撃の事実を「具体的な数字」で知ってしまうと何とも言えない焦りが生まれる。

筋トレはやり方によっては、非常に楽。

一方、ランニングは準備をして、走るまでに色々な感情との葛藤がある。

こんな感じで、人は簡単に楽な方に楽な方に流れてしまう生き物。

無駄なエネルギーを使わないという生き物としての本能がそうさせるか。

かつて一緒に作り上げた軍隊のような良い習慣(?)も無駄を排除する本能が影響してやがて必要ないことに対してエネルギーを注がなくなっていく。

さらに厄介なことにこれは自分自身ではなかなか気がつきにくいもの。

しかし、そうやって怠惰に身を委ねているとロクな結果にならないことは今回のお肉が教えてくれている。

だから、定期的に自分自身の行動を見直し、こまめに習慣の軌道修正をするのがとても重要。

そして、習慣に基づく行動の結果が3ヶ月後、1年後、3年後の自分自身を上げる。定期的に習慣を見直すこと。

分らなければ、今日一日に行った行動をかたっぱしから紙に書き出してみることに。

お菓子の量が増えていたら危険信号。
適当な英語学習をやっていたら来年も今のまま。

どちらに進むのもあなた次第。

ここが別れ道。

英語と一緒に。

■ 「そっくり」なのは be alike ? それとも take after ?

次の日本語を瞬間的に英語にして声に出して下さい！

双子と言えば、日本だと三倉まな、かなさん、それからお笑いの W たっちが有名かなと思いますが、

海外だと、少し前にブラッド・ピットとアンジェリーナ・ジョリーの双子が雑誌にも載っていましたよね。



僕も密かに双子に憧れがあったりするのですが、今日は、双子に遭遇した時のこんな一言を英語にして見て下さい！

それでは、どうぞ！！

「その双子はホントそっくりで見分けがつかないよ。」

ヒントです。

「双子」は、twins

「見分ける」というのは、tell one's apart を使うといいです。

とにかく、声に出してみることです。間違っている、誰にも分らないですからね！
それでは、次項より解説です。

今回、用意した英文はこの2つです。

The twins are so much **alike** that I can't tell them apart.

The twins **take after** so much that I can't tell them apart.

それでは、解説です。

受験英語では、「～に似ている」という意味の動詞 resemble の書き換えとして、take after を答えさせる問題が、今だに出題されていますが、

これは受験英語ではOKでも、実際に使う場合のニュアンスはかなり違って来るんですね。

まずは、**after** が持つ基本的なニュアンスから。

これは、例えば、run after the thief と言えば「泥棒の後を追う」ですが、

ここで使われている「**～を追いきめる**」という意味が after が本来持っているニュアンスです。

例えば、seek after fame と言えば「名声を追いきめる」となります。

a picture after Picasso であれば、「ピカソのまねをした絵(ピカソを追いきめた絵)」から転じて「**ピカソ風の絵**」という感じになります。

だから、熟語でよく見かける、**name after** も

The baby was **named after** his grandfather.

「その赤ちゃんは祖父の名をとってつけられた」となるわけです。

(祖父の名前が赤ちゃんに引っ付いていったという感じですね。)

一方、take after ですが、これは自分の両親や祖父母など、

「自分より年上」の家族や親戚が誰かに似ている（特に、性格や行動が似ている）
場合に使います。

なので、冒頭で話した双子が「お互いに」似ているとか、自分の叔父さんが年下の自分によく似ているような場合には使うことができないんですね。

（take after というのは、身内だけに使われるんだなと覚えておくと便利です。）

それから、同じよう意味の resemble

（英英辞典 OXFORD より）

re•sem•ble /rɪˈzembəl/ verb [VN] [*no passive*] (not used in the progressive tenses) to look like or be similar to another person or thing.
She closely resembles her sister. ◇ So many hotels resemble each other. ◇ The plant resembles grass in appearance.

これは「人の性格や外見が似ている、物の外見が似ている」という意味ですが、

どちらかというと、改まった感じの文語体なので、日常会話ではあまり聞いたことはないと思います。（僕も日常会話で使ったことはないです。）

なので、「双子がそっくり」というのは、形容詞の alike を使って、
The twins are very much alike.のように表現するのが一般的かなと思います。

（単に外見だけが似ている（性格、行動が違う）場合は、look like～を使います。

He looks like monkey.とかね 笑。）

以上、take after, name after, resemble, look like などなど、紛らわしい表現はありませんが、一度、英文にして、イメージしながら、「絵」として覚えておくことです。参考にしてくださいね！

それでは、今回はここまでです。次回は、「壊れ物」について話します。

out of order も、broken も日常会話では頻繁に使う表現なので、しっかりモノにしておきましょう！

■ 最後に

The successful man will profit from his mistakes and try again in different way.

Dale Carnegie.

「成功する人は、自分の失敗からも利益を引き出して、異なるやり方で再び試みるのである。」

カーネギーは裁判大国アメリカで生涯、一度も、裁判沙汰になったことがないことで、有名ですが、やはり自分の失敗から学ぶという姿勢が人一倍あったからかもしれないですね。

Try again in different way.

習慣を見直し、違った方法で再チャレンジして見て下さいね！

それでは、よい連休を！！

また来週お会いしましょー！！

■おまけ

既にご存知だとは思いますが、トモネット英語塾のSNSが新しくなりました。



全塾生には、案内のメールが届いているはずですが、届いていないという場合は、

oka4u@comcast.net（齊藤直通）

まで、メールの件名を「SNS招待希望」としてメールして下さいね。

■おまけ2

夏の終わりによろしければ、どうぞ。最近、朝によく聞いてます。

http://www.youtube.com/watch?v=0ZUdkfI_pDM

Summer－久石譲



『トモネット英語塾』

塾長 中西 智裕